

事務事業評価シート (評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		市民体育館等指定管理事業					②事業番号		7627												
③事業類型		4. 施設等維持管理事業			④開始年度		平成	21	年度		⑤終了予定年度		年度	○	設定なし						
⑥根拠法令等		○ 法令		条例		規則		要綱		計画等		その他		法令等の名称		泉南市民体育館条例					
⑦実施手法		直営		○ 全部委託		一部委託		補助・負担		その他											
⑧関連予算科目コード				款		9		項		6		目		3		細目		1		5	
⑨担当部名				⑩担当課名																	
教育部				生涯学習課																	
												会計								一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 市民体育館・双子川テニスコート・泉南市民球場	① 施設数	施設
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
泉南市民体育館等の管理運営に関する基本協定書に基づき、体育施設(市民体育館・双子川テニスコート・泉南市民球場)を指定管理者に運営させる。	① 市民体育館開館日数	日
	② 双子川テニスコート利用可能日数	日
	③ 市民球場利用可能日数	日
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
既存施設の機能を最大限に活用し、施設の充実をはかる。	① 市民体育館利用者数	人
	② 双子川テニスコート利用者数	人
	③ 市民球場利用者数	人
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
施設利用者へのサービスが向上する。	政策(章)	1 すべての人が暮らばれ、その個性が発揮できるまち
	施策大(節)	4 だれもが、いつでもどこでも学べる生涯学習推進のまちをめざします
	施策中	2 生涯学習内容の充実
	施策小	4 スポーツの推進

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①	施設数	施設	3	3	3	3	3	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	市民体育館開館日数	日	309	317	265	280	320	
活動指標②	双子川テニスコート利用可能日数	日	253	282	241	260	285	R2年度の活動指標の減は、新型コロナウイルス感染症の影響により施設を一時閉館したため。
活動指標③	市民球場利用可能日数	日	213	257	202	202	280	
成果指標①	市民体育館利用者数	人	38,182	36,832	22,381	37,000	37,000	
成果指標②	双子川テニスコート利用者数	人	10,389	14,119	11,334	15,000	15,000	
成果指標③	市民球場利用者数	人	7,949	11,464	4,123	12,000	12,000	
事業費	投入人員	正職員	人	0.45	0.27	0.25	0.30	事業費などの推移における特殊要因などの説明
		任期付職員	人	0.05	0.05	0.00	0.20	
		臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	
	事業費	人件費(投入人員×単価)	千円	3,812	2,253	1,908	2,892	R1年度の事業費の増は、予約システムの更新を行ったため。
		直接事業費	千円	36,931	44,655	38,598	36,809	
		総事業費	千円	40,743	46,908	40,506	39,701	
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	1,970	0		併せてその他特定財源としてネーミングライツによる収入も新たに増えた。R2年度はコロナに関する交付金事業あり。
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	302	1,847	1,387	1,387		
	一般財源	千円	40,441	45,061	37,149	38,314		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	指定管理制度を導入して、体育施設(市民体育館・双子川テニスコート・泉南市民球場)を指定管理者に運営させることによって、民間の経営による効率的な施設運営が可能となる。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	指定管理制度を導入後、直営では出来ないサービス等も可能となったことから、施設利用者の数が増加し、利用者の満足度も高まってきている。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	-

〔1〕目的妥当性(必要性)

B

AA

施設の老朽化。